

【算数】

「※」は学習するときのヒントです。



<学習内容>

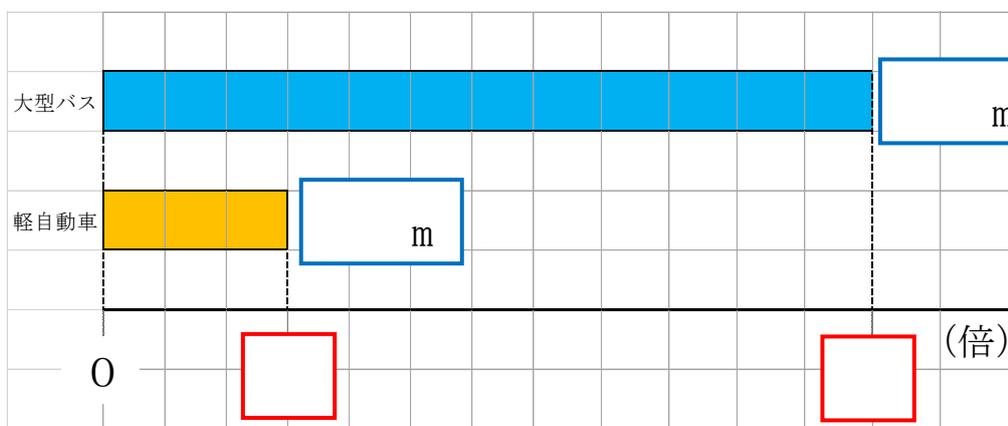
◆「わり算の筆算」（教科書 35～37 ページ）

大型バスと軽自動車が止まっています。
 大型バスの長さは12mです。
 軽自動車の長さを3mとすると、大型バスの長さは、軽自動車の長さの何倍でしょうか。

大型バス1台分の長さは、軽自動車の何台分かな。



(1) 問題の場面を図に表すために、下の四角に数を書き入れましょう。



※赤四角のどちらか一方は「求める数」だから空白になるよ。



(2) 式を書いて、答えを求めましょう。

式

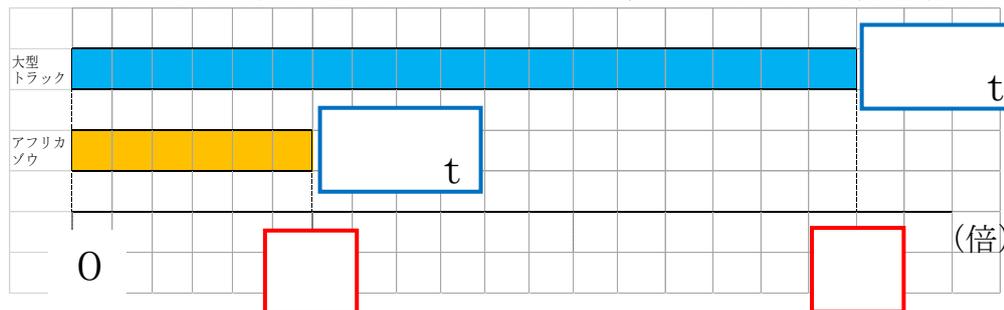
答え

※“倍”を求める時はどんな計算をしたかな。教科書173ページを見て、思い出してみよう。



ある大型トラックの重さは18tで、アフリカゾウの体重の3倍になります。アフリカゾウの体重は何tでしょうか。

(3) 問題の場面を図に表すために、下の四角に数を書き入れましょう。



あれ？今度は“倍”ではなく、アフリカゾウの体重を求めるんだね。



“倍”が分かっている時、（アフリカゾウの体重は）どうやって求めればいいのか？

- (4) もとにする数は、「大型トラック」と「アフリカゾウ」どちらの重さか考え、下の四角に言葉で説明しましょう。

※「もとにする数は〇〇だと思います。理由は…」などと書き始めると、説明しやすいよ。



- (5) アフリカゾウの体重を□tとしてかけ算の式に表し、答えを求めましょう。

※かけ算の式を立てた後、「□の3倍が18」だから、□にあてはまる数はわり算で求めればいいね。



式

答え

- (6) 教科書 37 ページの㊦と㊧の問題に取り組み、ノートか取組シートに書きましょう。

※テープ図や数直線などで絵や図をかいてから、式を立ててみよう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆わり算の筆算（教科書 P35～P37）

- ・“倍”を用いる問題では、問題の文章をよく読み、絵や図などに場面を表すなどして、数と数の関係を正しく捉える力が必要です。テープ図や数直線などを使って、場面を読み取ろうとする姿が見られたら、お子さんを褒めてください。